

橋本忍生誕 100 年記念 シネマシナリオフェスティバルシンポジウム

11 月 11 日に開催

～7 月 19 日に急逝した脚本家、橋本忍 生誕 100 年を記念し

追悼を込めてシンポジウム開催～

橋本忍生誕 100 年記念事業実行委員会（兵庫県市川町）が橋本忍生誕の地である兵庫県市川町にて 2018 年 11 月 11 日に記念シンポジウムを開催いたします。

▼イベント名 :

橋本忍生誕 100 年記念 シネマシナリオフェスティバルシンポジウム

「理不尽への怒りと狂気に至る世界～橋本忍脚本の魅力と影響力～」

URL <http://hashimotoshinobu100th.com/>

■イベントの主旨

2018 年 7 月 19 日に 100 歳で急逝した脚本家、橋本忍。

「羅生門」「生きる」「七人の侍」をはじめとする黒澤映画や「砂の器」「八甲田山」「私は貝になりたい」等、日本映画を代表する数々の脚本を執筆し、世界を魅了してきました。

故郷である兵庫県市川町では、橋本忍生誕 100 年を記念し、その世界に名だた作品と人物を讃え、追悼の意を込めつつ、未来に繋げるための記念事業を展開しています。

本シンポジウムは、橋本氏の人や作品にまつわる様々なエピソード、制作の裏話などを、ゆかりの映画関係者などに語っていただき、同時に次の 100 年に想いを馳せ「橋本レガシー」が若い世代や、地域社会の創生・再生にどのように継承され、影響を与えていくのかを、気鋭の映画監督や地域創生に携わる専門家も交えて検証します。

■イベントの見所

橋本氏の数少ない弟子の一人、脚本家中島丈博氏、橋本忍記念館設立に尽力

した博物館学の権威、高橋信裕氏、デビュー以来 4 作連続で東京国際映画祭に

出品し、世界的にも高い評価を受ける映画監督、渡辺紘文氏、地域創生や人材

育成に携わり、日本全国の地域活性を実現してきた榎田竜路氏。これら異色の

顔合わせを、朝日新聞記者、映画評論家、石飛徳樹氏の絶妙なコーディネーションにより、一期一会の「橋本談義」を展開。

■開催概要

主催：兵庫県市川町（橋本忍生誕 100 年記念事業実行委員会）

（企画制作：合同会社アースボイスプロジェクト）

共催：橋本忍記念館

後援：日本シナリオ作家協会（予定）、兵庫県、神戸新聞社

日時：2018 年 11 月 11 日午後 1：00 開場 午後 1：30 開演

会場：市川町文化センター ひまわりホール

参加費：無料

参加人数：定員 500 名 *定員になり次第締め切り

パネリスト：

中島丈博（脚本家）

高橋信裕（博物館学、高知みらい科学館館長、元文化環境研究所所長、元常磐大学教授）

渡辺紘文（映画監督）

榎田竜路（メディアプロデューサー、(合)アースボイスプロジェクト代表社員）

司会：石飛徳樹（朝日新聞記者、映画評論家）

■団体概要

名称：橋本忍生誕 100 年記念事業実行委員会（兵庫県市川町）

代表者：実行委員長 岩見武三（市川町長）

所在地：〒679-2315 兵庫県神崎郡市川町西川辺 165-3

URL：<http://hashimotoshinobu100th.com/>

*事務局：合同会社アースボイスプロジェクト

所在地：鎌倉市大町 5-13-10

URL：<http://ev-pj.com/>

■本件に関するお問い合わせ先

橋本忍生誕 100 年記念事業実行委員会事務局（合同会社アースボイスプロジェ

クト内）担当/榎田智子

Mobile 080-8048-1932 Tel 0467-24-1740

Email info@ev-pj.com